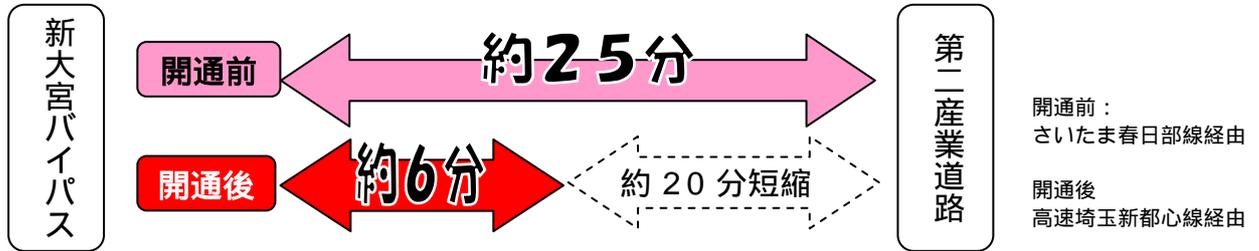


開通について

今回開通区間の効果

- (1) 高速道路を利用することで、さいたま市を中心とした東西方向の移動時間が大幅に短縮されます。



周辺道路経由：平成16年度実測調査結果（ピーク時）
 高速経由：推計値

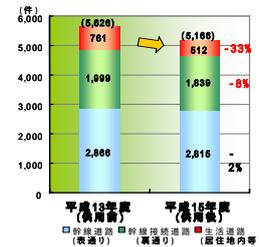
- (2) 周辺道路を利用していた交通が高速道路を利用することで、産業道路やたつみ通りなどでは交通量が1割程度減少し、流れがスムーズになり、周辺道路の事故が減少することも期待されます。



周辺道路の混雑状況
 （産業道路）

- (参考) 中央環状王子線（平成14年12月開通）沿線の生活道路では死傷事故が開通前に比べ3割減少しました。

王子線沿線の死傷事故件数



中央環状王子線 L=7.1km
 H14.12.25 開通



(国土交通省関東地方整備局調べ)

【出典】警視庁統計データ

- (3) 周辺道路を含んだ時間短縮、事故減少などの経済効果は年間約140億円です。
- (4) 車の流れがスムーズになると走行車両の排出ガス量も減少するため、環境も改善されます。（走行速度が20km/h 60km/hになるとCO₂の排出量は4割減）

CO₂ 約3万t-CO₂/年削減



の面積の森林が
 1年間に吸収する量に
 相当

森林の二酸化炭素吸収量 10.6t-CO₂/ha・年
 出典：土地利用、土地利用変化及び林業に関する
 グッド・プラクティス・ガイド（優良指標指針）
 大宮公園の面積 67.8ha 出典：埼玉県HP

NOx 約90t/年削減



普通自動車21,000台が
 電気自動車におきかわる
 効果に相当

普通自動車のNOx排出量 0.21g/km・台
 出典：国土技術政策総合研究所資料を基に計算
 平均走行距離 55km

SPM 約6t/年削減



の量に相当

ペットボトル500ml1本あたりSPM100g



(5) 見沼田んぼは首都近郊に残された数少ない緑地空間であり、自然環境へ配慮し、**首都高初のビオトープ整備** (6.3ha) を行います。
 さらに周辺の動植物に配慮し、約 1km にわたって 12m 間隔 (173 個) で、光の漏れ出しの少ない照明を設置しました。

ビオトープ：地域の野生の生き物たちが暮らす自然
 (財) 日本生態系協会 HP より



首都高沿いに整備される
 ビオトープ
 (将来のイメージ)



光の漏れ出しの少ない照明

今回開通区間の概要

路線名称： 高速埼玉新都心線

開通日時： 平成 18 年 8 月 4 日 (金) 15 時

開通区間： 新都心～さいたま見沼 (延長 3.5 km)

(さいたま市中央区新都心～緑区大字三浦)

開通する出入口： 新都心西 (中央区上落合七丁目)：第二産業道路方面の出入口

新都心 (大宮区北袋町二丁目)：第二産業道路方面の出入口

さいたま見沼 (緑区大字三浦)：新都心方面の出入口

構造： 高架 1.8km、半地下・平面 0.2km、地下 1.5km

事業費： 約 950 億円 (暫定 2 車線整備などのコスト縮減を行っています)

料金： 普通車 400 円、大型車 800 円 (美女木 (外環)～さいたま見沼間均一料金)
 新都心 (産業道路)～さいたま見沼 (第二産業道路) 間 (1.4 km)
 は ETC 普通車 300 円、ETC 大型車 600 円

今回開通区間の特徴

埼玉新都心線はさいたま市の中心部を**東西方向に通過する**初めての**高速道路**です。
 新大宮バイパスや国道 17 号、産業道路、第二産業道路など、さいたま市を南北に走る主要幹線からご利用いただけます。

さいたま新都心付近

さいたまスーパーアリーナ等と一体的に建設された**首都高最長のトンネル**「新都心トンネル (延長約 2.9km)」でさいたま新都心を通ります。

「新都心トンネル」には非常電話、非常口、水噴霧設備など、万が一の際にお客様の安全を確保する設備を設置しております

見沼田んぼ付近

見沼田んぼでは、**首都高初のビオトープ**を整備します。



首都高最長のトンネル
 「新都心トンネル」